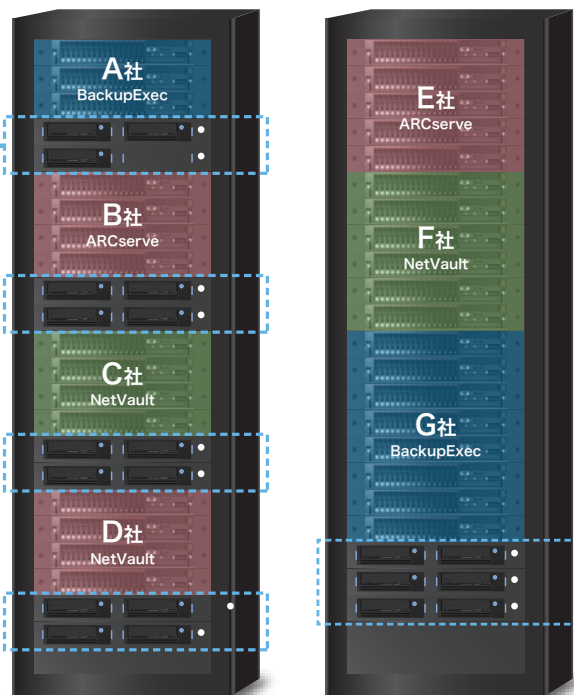
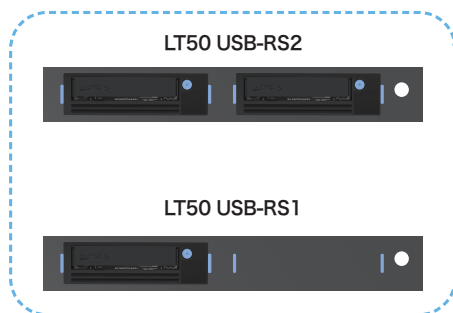


**新製品** 世界初 USB3.0対応LT50 USB搭載  
ラックマウントシステム



## 特長

- 1UのエンクロージャーにUSB3.0対応LTO5を1ドライブまたは2ドライブを搭載したデータセンター向けLTO5テープシステム
- 「Plug and Play」の運用が可能で、サーバの『再起動なし』に電源を入れたままでも接続・切り離しが可能
- 複数サーバ間での動的な共用が可能
- LTFS (Linear Tape File System) を使用することにより、HDDと同様なドラッグアンドドロップでファイルの移動・書き込みが可能
- 1巻あたり1.5TB (非圧縮時)、3.0TB (2:1圧縮時) の大容量
- 最大140MB/secの高速アクセス
- AES-256bitハードウェア・データ暗号化機能対応
- Windows/MacOS/Linux間でプラットフォームを超えたデータの受け渡しが可能

## 導入のメリット

- サーバの再起動なしで接続・切り離しができるので、複数サーバによる共有が可能  
特にデータの受け渡しを頻繁に行うユーザに最適
- 万が一のLTOドライブの障害が発生しても、サーバを停止することなくメンテナンスが可能
- 1Uと省スペースなので実装スペースの削減が可能
- 世界標準のLTO Ultrium5のため、将来的な互換性も安心

## 最適な用途

- データセンターにおけるクライアント毎のバックアップ運用 (バックアップソフトウェア各社による検証済)
- LTFSフォーマットによるデータの受け渡し
- LTFSフォーマットによる画像データのアーカイブ

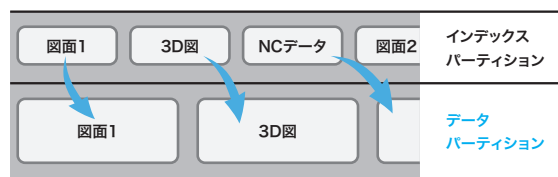
## 各社認定デバイスに登録

- CA ARCserve Backup r16
- Quest NetVault Backup
- Symantec Backup Exec 2012

## LTFSの仕組み

LTFSは、パーティション機能によりLTOテープをインデックスパーティションとデータパーティションに分割し、インデックスパーティションにファイルの情報を保存、データパーティションにデータそのものを保存することでファイルシステムとして直接アクセスを可能にします。

## パーティション機能



# LT50 USB-RS1/RS2

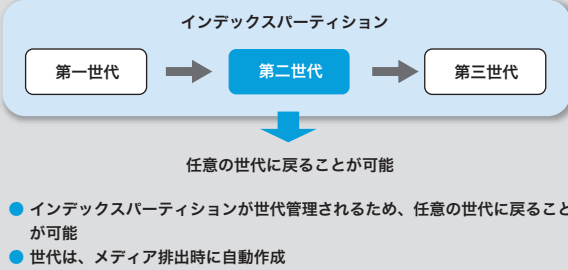
## システム概要

「取扱いの容易さ」と「直接アクセス」、LTOの「容量増加・保存の容易さ」と「GBあたりの安価な単価」、両方を兼ね備えたシステムです。

**【ドラッグ&ドロップでのファイル書き込み】**




**【世代管理】**



- インデックスパーティションが世代管理されるため、任意の世代に戻ることが可能
- 世代は、メディア排出時に自動作成

**【LTFSを使用した異なるプラットフォーム間におけるデータ共有】**



## ハードウェア仕様

型名	LT50 USB-RS1	LT50 USB-RS2
ドライブ・タイプ	LTO Ultrium5	
搭載ドライブ数	1	2
カートリッジタイプ	LTO5 データカートリッジ	
物理容量	最大3TB (2:1圧縮時) 1.5TB (非圧縮時)	
カートリッジ下位互換	LTO Ultrium4:リード / ライト LTO Ultrium3:リード	
対応OS	Windows 7 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 Red Hat Enterprise Linux 6 Mac OS X 10.6	
最大データ転送速度	140MB/sec ※1	
質量	7.6kg	9.2kg
電源	100~240V AC 50~60Hz (自動範囲設定)	
消費電力	65VA ※1	
インタフェース	USB3.0 / USB2.0	
外形寸法	425(W) × 510 (D) × 44(H)	

※1 LT50 USB一台あたりの数値になります



株式会社 ユニテックス

<http://www.unitex.co.jp>

営業本部 〒194-0021 東京都町田市市中町2-2-4 ユニテックスビル  
TEL: (042) 710-4630 FAX: (042) 710-4660

関西営業所 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134 KRP2号館  
TEL: (075) 325-1770 FAX: (075) 325-1880

お問い合わせ先